

政治への無関心さが  
民主主義の崩壊を招く!

17歳の高校生が大田区議会を傍聴した感想と、日頃感じている政治への思いを書きました。昨今の政治状況を厳しく見つめ、多くの人に政治への関心を呼びかけています。

## 大田区議会を傍聴して

まず、議会において、議員の質問に対する行政側の答弁ですが、その内容が大まかすぎます。出来ればいつまでに、どのような対処をしていくのか公言していただきたいと思いました。結局対処されないというイメージが強く、それでは困ります。

## 最近の政治について

政治とは国民の為にあるものです。最近の政治家は、とても国民のことを考えて働いているようには見えません。むしろ、個人の利益だけを考えているように見えます。

日本は民主主義国家ですが、その体制も政治家の勝手な判断により崩れつつあるのかもしれない。国民は政治家、政府等を監視する義務があるでしょう。国民の政治に対する無関心さが政府を自由にすぎさせてしまい、やりたい放題にさせてしまっています。

国民と“国民の代表である国会”が政府に縛りを与え、約束したことは行わせる、出来なかった場合には責任を取らせる、不正は絶対に許さないということを徹底すべきです。公文書はその作成、公開は当然とし、絶対に改ざんされることはあってはなりません。

新型コロナウイルスの対策の際に痛感しましたが、他の国と日本の政治を比べると、日本は決定も実行も全てにおいて行動が遅いです。早急な対応がいかにか重要であるか理解し、対策を行なっていただきたいです。

(大田区在住・高校生・17歳)

## 区議会第2回定例会の報告

6月11日～22日

区長あいさつでは、“今後3年間で、区の財政が厳しくなること、そのため不要不急な事業の延期や廃止、事業の優先順位付けや新たな手法の検討など全事務事業の見直し”と言及がありました。

新型コロナウイルス感染症の第2波も懸念されている中、安心して生活できる環境作り、だれをも取り残さない“住民福祉”が実現するよう注視していきます。

※ひとり親世帯臨時給付金：児童扶養手当の支給を受けている世帯には5万円、第2子以降1人につき3万円、さらに収入が減少した世帯には1世帯5万円の給付金が受けられます。



## 会派結成「エールおおた区議団」

5月1日から「大田・生活者ネットワーク」北澤潤子は「大田区議会緑の党」野呂恵子さん、「立憲民主党大田区議団」庄嶋孝広さん、平野春望さん、小川あずささんとの5人で会派を組みました。

大田区議会では4人以上で交渉会派になることができます。交渉会派になると、議会運営委員会に参加でき、また本会議での代表質問権を得ることができます。開かれた議会運営、区民の声がより活かされる議会をめざして活動していきます。

暴力のない世界を！だれもが自分らしく、みんなが幸せになるためのジェンダー平等を

大田区配偶者暴力相談支援センターへのDV被害を含める相談件数はこの5月は昨年同月の倍以上の件数(95件)でした。新型コロナウイルス感染拡大予防のための外出自粛や経済的な損失のストレスの影響が考えられます。

しかし、どこに助けを求めてよいかわからない人、助けを求めることをあきらめてしまっている人など、「声をあげられない声」はもっと多いはず。

女性への暴力は、根底には性差別、ジェンダー不平等の問題があるといえます。2019年の日本のジェンダーギャップ指数ランキングは153カ国中121位で、前年度より順位を下げています。女性への暴力根絶はもとより、全ての人権が尊重される、だれもが暮らしやすい社会をめざさなければなりません。

東京・生活者ネットワークでは、2019年7月より東京都内48自治体に調査をかけて、「セクハラ対策」「DV対策」「性暴力対策」それぞれの取組み状況を調べました。全ての設問が男女共同参画社会基本法の理念に基づき、計画に盛り込んでほしい施策ばかりでしたが、調査結果は100点満点で最高54点、平均33.92点という「まだまだこれから」という状況でした。(https://www.seikatsusha.me/)

「これってあるある！  
ジェンダーかるた」作り

日野・生活者ネットワークでは、「これってあるある！ジェンダーかるた」作りに取り組んでいます。

自分の中にあるジェンダー(固定的役割分担や思い込み等)に気づき、ジェンダーの視点で世の中を見つめることが、だれもが自分らしく生きていける社会の実現につながります。

補正予算を含む全ての議案可決・  
感染拡大予防と生活支援策

第2回定例会では、新型コロナウイルス感染拡大予防とその後の生活支援策としての2020年度一般会計補正予算3次、4次を含めた議案が審議されました。補正予算の中身は、区立学校感染症対策としてサーモグラフィー導入、診療環境整備支援、感染症患者受け入れ医療機関への支援、商店街活性化推進事業としてのプレミアム付地域商品券促進事業への支援、ひとり親世帯臨時給付金(※)で、総額約8億700万円です。

## Information

～事前にお問い合わせください～

OTA 未来カフェ (参加費無料)  
ぜひお気軽にご参加ください。

●8月29日(土)14:00～16:00

## 「地域包括支援センターについて」

介護保険制度が始まってから20年、地域包括支援センターが誕生して12年が経ちます。地域包括支援センターを対象におこなったアンケート調査の報告を聞きながら、課題は何か、今後、何が望まれるのかをいっしょに考えましょう。

●9月19日(土)14:00～16:00

## 「多重債務とは」

コロナ禍で仕事が減り、減収になった人が多くいます。経営の行き詰まりや住宅ローンなどで、消費者金融での借金が膨らみ、さらに生活困窮に追い込まれることがあります。司法書士の方の経験からのお話をいただき、懇談のときを持ちたいと思います。

3.11を忘れない  
～3.11を風化させないために～

●8月11日(火)18:00～19:30

●9月11日(金)18:00～19:30

参加費：300円(軽食付き)

いずれも  
大田・生活者ネットワーク事務所にて

大田区蒲田4-42-3  
イースタンコーポ蒲田302

(環8沿い、蒲田郵便局斜め向かい、  
釣具屋上州屋の3階)

お問合せ・申し込みは

TEL : 03-6424-7561  
FAX : 03-6424-7562  
E-mail : oota@seikatsusha.net